




開腹前立腺全摘術を受けられる患者さんへ

主治医 () 受け持ち看護師 () 説明看護師 ()

経過	手術前日	手術当日 (手術前)	手術当日 (手術後)	手術後 1 日目
日付	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
援助目標	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活に慣れることができるよう援助いたします。 不安が最小限で過ごせるよう援助いたします。 手術に対する理解ができ、術前の準備が整うよう援助いたします。 		<ul style="list-style-type: none"> 苦痛が最小限で過ごせるよう援助いたします。 合併症なく経過できるよう援助いたします。 	
処置	<ul style="list-style-type: none"> 手術部位 (下腹部～陰部)、左の太ももの毛を刈り、お臍の処置をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室へ入る前に手術衣に着替えます。(肌着は着用しませんが、パンツは着用していきます。)その後、手術用の弾性ストッキングを履いていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛み止めの細いチューブが背中にはいっています。 痛みのある場合は坐薬・注射で対処します。 酸素吸入を翌朝までします。 心電図モニターを翌朝まで装着し、頻回に血圧や体温測定を行います。 傷口に細いチューブがはいっています。 血栓予防の機械が両足に装着されています。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝 9 時に酸素吸入・心電図をはずします。 医師が傷口を診察し、必要時は消毒をします。 歩行出来ればストッキングと血栓予防の機械を外します。 
薬剤	<ul style="list-style-type: none"> 常用しているお薬がありましたらお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 10 時以降に手術室へ行かれる予定の方は点滴をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 主治医の指示により、常用しているお薬を服用します。 24 時間点滴をします。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて採血などの検査があります。 			<ul style="list-style-type: none"> 朝、採血があります。 
安静度	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> お部屋でお待ちください。 	<ul style="list-style-type: none"> ベット上安静です。頭をあげたり、起き上がることはできません。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行可能となりますが、初回歩行は看護師と一緒に歩行します。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 食事は常食もしくは治療食になります。 夕食までの食べることができます。それ以降は絶食です。 飲水については麻酔医が指示を出した時間まで飲水できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事はできません。飲水については、麻酔医が指示した時間までは飲水できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔が覚めた後は水を飲むことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 昼食より食事が再開します。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 手術部位の毛を刈った後でシャワー浴します。 	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴はできません。 	<ul style="list-style-type: none"> 汗などが多い場合は体を拭きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 尿管が入っている間は身体を拭きにまいます。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝浣腸をします。看護師が排便状況を確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> 尿を出す細い管が尿道に入っています。 	
説明	<ul style="list-style-type: none"> 外来で説明を受けていない場合は医師より手術の説明を行います。 看護師より入院生活や手術時の説明を行います (必要物品などについて) 麻酔科の医師と手術室の看護師の訪問があります。 緊張して眠れない方は安定剤が用意してありますのでおっしゃってください。 	<ul style="list-style-type: none"> トイレに行かれる際など、ふらつくことがあるので看護師にお知らせください。 手術室へはあるいて行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 主治医より手術後の説明があります。 手術中御家族の方は 3 階の家族待合室でおまちください。手術が終わり次第ご連絡します。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みやその他気になることがあれば看護師におっしゃってください。

・以上はあくまでも標準的なものであり、変更があれば随時お知らせします。

経過	手術後2日目	手術後3～4日目	手術後5～7日目	手術後8日目～退院
日付	/ ()	/ () ~ / ()	/ () ~ / ()	/ () ~退院
援助目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦痛が最小限で過ごせるよう援助いたします。 ・ 合併症なく経過できるよう援助いたします。 			
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師が傷口を診察し、必要時は消毒をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傷口のチューブからの排液が少なければ抜きます。 ・ 医師が傷口を診察し、必要時は消毒をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師が傷口を診察し、必要時は消毒をします。 ・ 手術後7日目に問題なければ傷口の抜糸をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にありません。 
薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主治医の指示により、常用しているお薬を服用します。 ・ 点滴は午後に終了します。(状況によっては継続する可能性もあります。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主治医の指示により、常用しているお薬を服用します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主治医の指示により、常用しているお薬を服用します。 ・ 退院時に必要なお薬があれば、主治医へ依頼しますのでお知らせ下さい。(緊急の処方の場合は退院に間に合わない事がありますので、退院の前日までに看護師へ伝えて下さい。) 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて行います。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 術後7日目に尿道造影を行います。この検査で尿管を抜く事が可能かどうか判断します。 ・ 尿管が抜けたら、自尿と尿漏れの量を確認していきます。 ・ 必要に応じて採血等の検査を行います。 	
安静度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制限はありません。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 制限はありません。 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に制限はありません。 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体を拭きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傷口のチューブが抜けたらシャワー浴ができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 抜糸後はシャワー浴が可能となります。 	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に制限はありません。 			
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 痛みやその他気になることがあれば看護師におっしゃってください。 ・ 骨盤底筋運動を始めてみましょう。 			

・以上はあくまでも標準的なものであり、変更があれば随時お知らせします。